

カンダにご縁のあった方にお届けします！

第10号

発行日：2008.9

酢豚に「パイナップル」



《暑い、熱い、2008の夏》

この記事は、「神田 哲也」が担当しました。

◆夏だ！ビールだ！ 熱いぜ！スポーツ！

残暑お見舞い申し上げます。

暑かった夏、皆様はいかがお過ごしでしたか？

私の夏は、クーラーの効いた部屋で、ビール片手にスポーツ観戦三昧です。元高校球児で、スポーツ大好きな私にとってはこたえられない夏となっています。

地元の高校として初めて甲子園に出場し、優勝候補の報徳学園と、一步も引かない好試合を演じた、**新潟県中央工業**。

いや～、熱くなりましたネー。久し振りに、プレーボールからゲームセットまで画面に釘付けとなりました。

改めて高校野球の素晴しさを感じた次第です。

一体、何人の人間が投入されたのだろうか？ 壮大なスケールで開幕した**北京五輪**。

田村で金。谷でも金。ママでは銅だった**ヤワラちゃん**。

有言実行にただただ驚くばかり、2大会2種目連覇の**北島**。

1人で8個の金メダルは多すぎないか？

マイケルフェルプス。

水泳もそうだけど、こんなに簡単に世界記録がでるもんですかね？ 9秒69、**ウサインボルト**。

世界最高峰の戦いには驚きと感動ばかりなり。

私の期待はズバリこれ！ **星野JAPAN**。

まだまだ続く北京五輪、ガンバレニッポン！

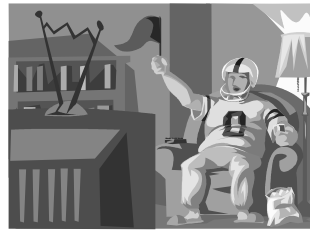
この原稿が掲載される頃は、五輪も、暑い夏も終わっていることでしょう。

でも、私の熱いスポーツ観戦は終わらないのです。

W杯アジア最終予選、Jリーグ、プロ野球クライマックスシリーズ、日本シリーズとまだまだこれからです。

スポーツを語ると、**松岡修造**ばりに熱くなる神田哲也が、自宅リビングよりマイクではなく、ビール片手にお伝えいたしました。

それでは、皆さんまた次回。



社員紹介



いつもお世話になっております。㈱カンダ東京HR事業部営業の水村英吾でございます。

生まれも育ちも葛飾亀有!! 昭和53年生の30歳です。㈱カンダに入社して2年とまだまだ経験は浅いのですが、お客様への気持ちだけは誰よりも熱く深くいたいと思っております。

私は20代の間色々な経験をしてまいりました。特に仕事面ではキーワードが「思い出」で、思い出を「作る仕事」、「残す仕事」、「仲介する仕事」と携わってまいりました。

「作る仕事」は中学校のバスケットボール部の外部指導員として、8年間指導し、途中教育実習なども交え、子供たちの思い出を作る仕事に携わり、その最初に教えていた子供たちも20歳を越し、そのときのことを思い出しながら飲める幸せを感じています。

「残す仕事」では、結婚式、イベントなどの映像撮り、編集、DVD作成などの仕事に携わり、「仲介する仕事」では古美術の掛軸やお茶道具、絵画などを取り扱う買取販売の仕事をしていました。

これからは道具を通して食の未来を作っていく仕事として当社では奮闘していきたいと思っております。道具というものはおいしい料理を作り出す縁の下の力持ちです。あくまで料理が主役であって料理をもっと生かすためのツールです。カンダの商品を使っていて良かった！ 便利だった！ のお言葉を求め、日々努力していきたいと思っております。宜しく御願致します!!



美味！ 私も大好き。

この記事は、営業部の「石塚 毅」が担当しました。

◆いつでも食欲旺盛、夏痩せなんて無縁です。

今年の夏はゲリラ雨で全国的に被害が大きく、残暑もありまして体の調子が悪い人も多いと思います。

これから食欲の秋になりますが、体には気をつけるにあたり火鍋に注目いたしました。

火鍋は中国の山間部で魚とれなく冷え込むので、肉を入れ臭みをとるのに野草と体を温めるのに唐辛子を入れた事が始まりで、今は薬膳・いろんな食材を入れ、二層に仕切り1つの鍋で2種類の味

を楽しむことが出来る事でブームになっています。

このいやな残暑を辛い火鍋を食べ新陳代謝を高め乗り越えましょう。



カンダオリジナル エンボス火鍋



ビジネスマナー 「CC」と「BCC」

この記事は、営業部の「奥村 耕一」が担当しました。

◆締め切りギリギリになると、爆発的な集中力を発揮する

パソコンというツールはビジネスには欠かせないものとなっています。

インターネットで情報を仕入れ、電子メールで得意先とコミュニケーションを図る。

Wordで文書を作成し、Excelでデータを管理する。

一昔前にはデスクトップ型パソコンが会社に1台あるくらいでしたが、今や一人1台が当たり前の時代です。

そこで今回のテーマは

「電子メールの宛先の使い分け」

についてです。



複数の得意先に見積もり書や送り状を送ったり、社内文書を部署内に一齐に告知や報告のメールを送ったり、紙もペンも切手も使わない電子メールは、様々なビジネスシーンで大活躍です。

あなたは複数の相手に電子メールを一齐に送信するとき、送信先すべてを「宛先」に入れていませんか。

複数の相手に電子メールを送るとき、文書の性質

や相手との関係性によって、

「宛先」ほかに「CC」と「BCC」を使うのがマナーです。

電子メールを送るとき、あなたも「CC」「BCC」というものを目にしたことがあると思います。

「CC」とは「Carbon Copy」の略で、主な宛先のほかに、メールの内容に目を通してほしい人に送る際に使われる宛先のことです。

同僚や部下とのやりとりを上司にも確認してもらうときや、上司への営業報告や日報を他のプロジェクトメンバーに報告する際に使います。

「BCC」とは「blind Carbon Copy」の略で、ここには「宛先」「CC」に入れたアドレスの相手に知られたくない宛先を入れます。

例えば、得意先に送る見積もりやお礼状を社内のメンバーにも知らせるときなどに用います。

お客様に出した見積もりの宛先に社内の相手先が何件も表示されているのでは非常にマズイでものね。

「CC」と「BCC」を上手に使いこなして、電子メールをビジネスに有効に活かしましょう



スプルス材について。。

この記事は、営業部の「南波 仁」が担当しました。

◆8号の記事について、理屈も少し。

8号でスプルス材の木蓋が割れてしまう事例をお話ししましたが、理屈も少し。

Q：もっと強い接着剤を使えば良いのでは？

A：スプルス木蓋には食品衛生法に適合した接着材を使用していますが、これより強力なものならば確かに剥がれにくくなるでしょう。ですがそういったものは食品衛生法に適合しないので使うことができません。

Q：もう少し詳しい割れの理屈は？

A：スプルス材について、一般に丸太の外側を白太といい、5～10cm程あります。

この部位は、若い部分ということになりますが、それだけに土壌の水分をよく吸う部分といえます。

当然、製品となった後でも水分を吸いや

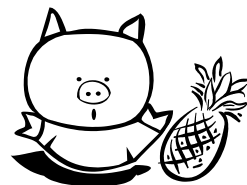
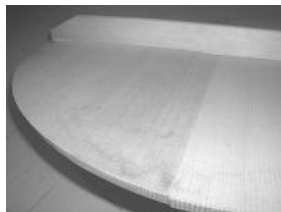
すく、比較的、にネジレや反りの現象が大きくなります。

芯のほうの赤身の部分の方が、こうなりにくいです。

ならば、その赤身の部分だけを使用すれば良いのですが、コストとの兼ね合いで不可能です。

多少なりとも性質の異なる部位のものを、人工的にくっつけてしまうからネジレや反りの現象に差異が出て、割れや剥がれに繋がります。

であれば、類似部材同士を選んで接着すれば？とも思いますが、これもコストに大きく跳ね返るためになかなか難しいというのが現状なのです。



酢豚に「パイン」

カンダにご縁のあった方にお届けします！



株式会社カンダ
〒959-1272
新潟県燕市杉柳912
(流通センター入口)
TEL: 0256-63-4541 (代表)
FAX: 0256-64-2960
e-mail: kanda@kankuma.co.jp
http://www.kankuma.co.jp/

ホームページもご覧ください
<http://www.kankuma.co.jp/>